

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科	
科目名称	食品企業論					授業形態		講義	
科目コード	276900	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング
担当教員名	岡崎 善三、長田 隆								
授業概要	<p>食品企業には、容器、製造機器、添加物、さまざまな素材メーカーなど、多くの食品関連企業があります。就職活動をおこなうにあたり、食品関連企業をすることは有益です。 また、財務諸帳票（損益計算書や貸借対照表など）を読むことは、企業選択をする上で重要となります。 これから就活を展開する学生に有益な視点を提供します。</p>								
関連する科目	本授業の履修前に受講することが望ましい科目：食品工場見学（演習）								
授業の進め方 と方法	<p>食品関連企業については、代表的な企業を選択して、企業の従業員に講義して貰います。 財務諸帳票は、読むための基本的内容を講義し、実際の財務諸帳票をもとに、企業の成長性や安定性を評価する知識を身に着けます。</p>								
授業計画 【第1回】	ガイダンス								
授業計画 【第2回】	財務諸帳票とは？								
授業計画 【第3回】	財務諸帳票から見えること①								
授業計画 【第4回】	財務諸帳票から見えること②								
授業計画 【第5回】	事例研究（同業の財務比較）								
授業計画 【第6回】	外部講師による企業説明①（容器メーカー）								
授業計画 【第7回】	企業研究②（容器製造業界）：グループワーク								
授業計画 【第8回】	外部講師による企業説明②（製造機器メーカー）								
授業計画 【第9回】	企業研究②（食品機器メーカー業界）：グループワーク								
授業計画 【第10回】	外部講師による企業説明③（添加物メーカー）								
授業計画 【第11回】	企業研究③（添加物メーカーの業界）：グループワーク								

授業計画 【第12回】	外部講師による企業説明④（OEM製造メーカー）
授業計画 【第13回】	企業研究④（OEMメーカー業界）：グループワーク
授業計画 【第14回】	企業研究①～④ 発表会
授業計画 【第15回】	まとめ
授業の到達目標	食品企業の多くは体系化したシステムの中で企業活動を行っていますが、そのシステムが市場とマッチしなくなった時、市場から撤退せざるを得なくなるという現状を理解する能力を身に付け、食品企業関連への就職を目指す学生には、食品業界の変遷や動向、業界で求められる知識や行動について理解できるようにする。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	外部講師による講義前には、予めその企業のHP等を確認すること（約1時間）
授業時間外の学修 【復習】	企業研究は、グループで発表できるようにまとめあげること（約2時間）
課題に対する フィードバック	グループ発表時間を取り、問題提起やポイントの解説を行う。
評価方法・基準	企業研究①～④について、レポート提出し評価します。
テキスト	パワーポイントを使用して授業を行う。資料は講義前に配布します。
参考書	必要に応じて、随時提示しますが、食品ビジネス関連の情報雑誌は多数出版されており、興味を持って読むようにして下さい。
備考	